



日本保育保健協議会 2026年度 東北ブロック研修会in福島 「園と感染症」～保育と医療の連携を目指して～

医療法人クラブトン

佐久間内科小児科医院 佐久間 秀 人

二本松の佐久間と申します。

標記タイトルの研修会を、本年11月7日(土)福島市「コラッセ福島」にて開催いたします。

特別講演の他、保育と医療の連携を目指すシンポジウム形式の集まりにさせていただく所存です。

参加対象は医師、保育士をはじめとした医療・保育関係者、医療・保育関係以外の方々も歓迎いたします。

日本保育保健協議会は、保育と医療の連携を目的とした全国組織です。県内会員は約30名、私は福島県代表を務めています。

日頃、二つの公立保育園、私立保育園・幼稚園の園医を務めていますと、日々当院を受診される子どもさんを通して、園とのつながりを感じます。

診療面では、園と医療機関との考え方の違いに戸惑う保護者に出会うことが多々あります。例えば、医学的な「発熱状態」は体温37.5℃以上を指しますが、園によっては体温37.2℃程度でも保護者のお迎えをお願いするケースが、特にコロナ禍以降目立っています。「下痢3回以上で呼び出し」とされる場合もあります。園内の感染症流行を怖れる姿勢であることは重々承知しています。

とはいえ、体温37.2℃、元気で機嫌よく咳も鼻水も出ていない状態で呼び出された保護

者の場合（お母さんが多いものの、最近はお父さんも増えてきました）、「何故この程度で呼び出すのか」との想いに捉われることも多くあります。実際に口にされるお父さんもおられます。私自身「そりゃあそうだよね」と思う場面もしばしばです。

疑問を抱くことの二つ目は、保育士（或いは幼稚園教諭）から保護者に対しての「病院で（お鼻の）検査をしてもらってください」、「お薬は1日3回服用ではなく、2回にしてください」のお声かけです。声かけというより、保護者によっては「強い要請」と受け止められることもあります（検査しないと、服薬2回にしないと預かってもらえない）。

検査の施行は医療側が決めることです。お薬の投与量や投与回数は厳密に薬剤開発の時点で設計され、園側に服薬回数を規定する権限はありません。

前述のように、保育園には保育園の事情や想いがお有りなことはわかります。

「感染症を蔓延させたくない」。

「感染力がどの程度あるか知りたい。できればウイルスや細菌の名前も」。

「お薬を（子どもに）与える時、間違いがあってはいけない」。

「医療側に園の事情が十分伝わっていない」。

園側と医療側の連携が十分でない場合、こういった気持ちの「食い違い」が起こり得ます。

医療側も園側の事情を汲み取り、お互いを尊重しつつ子どもを見守る姿勢が望まれるところでしょう。

どんな時にも保育側や医療側の都合、つまりは大人の都合を子どもに押し付けることがないよう心がけたいものです。子どもにとって「安心して過ごせる『居場所』である園」を、私たち大人の協働によって育てていければと思います。

そんなことを考える研修会にしたいものです。

下図は研修会のプログラム(案)です。9月半ばには正式な広報ポスター配布となります。当院ホームページでご覧いただけるようにいたしますが(<https://www.sakumanaikashounika.jp>)、医師会ホームページにも掲載していただければ幸いです。

本研修会を通して、保育と医療がお互いの立場を理解し、子どもたちの健やかな成長を支える新たな一歩となることを願います。

多くの方々のご参加を、心よりお待ちしております。

一般社団法人 日本保育保健協議会
2026 年度 東北ブロック研修会 in 福島

テーマ

「園と感染症」～保育と医療の連携を目指して～

日時場所 令和8年11月7日(土) コラッセふくしま5階研修室A・B
開場 12:00

議題

12:30 開会の挨拶 会頭 佐久間秀人(医療法人クラプトン 佐久間内科小児科医院)

12:35 基調講演 都もと子 先生(都小児科医院)
「私はこう考えるー保育所における感染症対策ガイドラインー小児科医の立場から」

13:15 シンポジウム 90分

司会 井上孝之 先生(岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科)

・高木さつき 先生(檜葉町地域学校協働センター長)

・橋谷田 聡 先生(現檜葉町立あおぞらこども園)

「園と感染症予防」

・西山江利子 先生(学校法人まゆみ学園 認定こども園子どもの館)

「感染症発生時の初動対応と継続」

～園内体制と園運営を支えるために～

・菅野由美 先生(認定こども園さゆりこども園)

「感染症における医療との連携」

14:45 休憩・交流会

15:25 特別講演 内海裕美 先生(東京都文京区吉村小児科)

「乳幼児の健やかな育ちのために」

～大人ができること～

16:30 閉会の挨拶 井上孝之 先生(岩手県立大学社会福祉学部人間福祉学科)